



[プロフィール](#)

[英語版はこちらから](#)

● 郵政民営化法案の成立

小泉純一郎です。

10月14日、郵政民営化法案が参議院本会議で可決され、成立しました。

政界の奇跡ですね。

国会の各政党は、私が総理大臣になる前は、郵政民営化は「暴論」だと言っていました。私は、いつかこの郵政民営化は「暴論」ではなく「正論」になる、そういう時が必ず来ると思ってやってきました。

山を越え、谷を越え、一度は谷底に突き落とされましたが、国民の皆さんがうまく引き上げてくれました。一度死んだ法案を生き返らせてくれたのも、法案成立という奇跡を起こしてくれたのも、小泉内閣の構造改革を支持してくれた国民の皆さんのおかげだと思います。心から厚く御礼申し上げます。

これから、いよいよ民営化の実現に向けて動き始めます。民間人の優秀な経営者の力をかりて、三事業に限らず、国民の必要とするいろいろなサービスを提供していただき、汗を流して利益を上げていただきたいと思います。収益が上がれば税金も納めてくれる、そういう立派な会社にして、国民の利便を向上させていただきたい。

先週、公邸前の植え込みの中で見つけたキノコのお話をしたところ、たくさんのメールをいただきました。専門家の調査によると、公邸の庭には、写真で紹介した2種類のキノコのほかにも6種類、全部で8種類のキノコが見つかりました。写真にある大きいキノコはテングタケという毒キノコでしたが、ほかのキノコは無毒のようです。公邸から官邸まで、50メートルぐらいですが、毎朝歩いていくのが楽しみになりました。

改革に終わりはありません。議員年金も廃止します。郵政民営化法案という「改革の本丸」の法案が成立したことで、改革に弾みをつけることができると思います。改革を止めることなく、これからも「民間にできることは民間に」「地方にできることは地方に」の基本方針の下、改革に突き進んでまいります。

※ 公邸のキノコ

<https://www.kantei.go.jp/jp/m-magazine/backnumber/2005/1013b.html>